



発行者： 高崎康行

発行日：24年10月12日

第7号

つぶやき 1

長い夏が終わったと思ったら秋が短くないそうですね。先生方には、負担をかけっぱなしで申し訳ない気持ちで一杯です。個人的に負担の大きかった「JRC」の大会が終わり、これから、ますます学校の事を中心に考えて頑張らねばならないと思っています。

- 1 気温差が激しい時期ですが、健康の方は大丈夫ですか。病気やけが、事故に気をつけて充実した日々を送れますように。
- 2 現職教育の推進は、児童の国語力の育成に役立つものになっていると感じます。忙しい時間の中でも、研修をする意欲はいつまでも燃やし続けるように頑張りましょう。
- 3 作文や感想文、絵画作品と学習発表会の練習時期を控えて大変な中児童の指導に当たっていただき、ありがとうございます。子どもの成長にとって、良い経験となることを願っています。そして、先生方の指導力の研修の機会になることを願っています。

つぶやき 2

現在、田中先生(筑波大附属小学校)のテーマ起こしを頑張っています。何度も繰り返し聞いていると、やはり優れた指導技術が見えてきます。また、JRCの公開発表では、杉田洋先生(文部科学省初等中等教育教科調査官)の講演会がありました。素晴らしい講演で、アンケートの結果も絶賛でした。教育が子どもを変える、特別活動の分野をもう一度見直したい気持ちにさせられました。

- 1 集団の中で人間は育つ。子どもの世界で子どもは育つ。
(子ども達の子ども達による子どものための活動)が必要。教員じゃなく子どもが解決。
- 2 夢と希望を持たせる教育。
- 3 人間の幸せ。
 - ① 人に愛されること
 - ② 人にほめられること
 - ③ 人の役にたつこと
 - ④ 人に必要とされることこの実感を学校の中で実感できるように与えていくことで、自尊感情を育てる。
- 4 「こうしろ」とさせる、教えるではなく、「あなたは どうする」と投げかけて実行させる。したいと思わせる(子どもに言わせる)。それが、自分から考え判断する力になる。
- 5 「みんな違って、みんないい」だけではわがままになる。あわせる、我慢するも教える。
- 6 望ましい集団活動を通して、子どもを育てる。よりよい生活や人間関係を築こうとする気持ちを育てる。

※ 子どもを育てる教師は、子どもの乗っている舟をこいでいるのと同じ、同じ方向にこがなければ舟は進まない。

※ 紹介していただいた学校は、まさに指導で子ども達が変わっていました。